

金武町教育委員会広報

(仮称)

第4号

発行
金武町教育委員会

町内小学校・中学校 の取組や活動

『金武小学校便り(碎啄同時)から』

生活リズムと家庭学習

金武小学校独自のがんばりノートを作成・活用してから一年になります。学級での指導・家庭での関わりで徐々に冊数・内容も改善してきましたが課題も多々あります。

低・中学年においては家庭での支援と関わりが見られ、殆どの児童が意欲的に取り組んでいます。しかし、各学年に少人数ですが家庭学習の習慣がなく保護者の関わりや学習環境づくりが整わず個々の課題の一つになっています。

高学年は、前年度と比較して

改善はしているが個人差に加えて男女差も見られ男子の家庭学習をしていない人数と内容面は大きな課題となっています。

部活動との関わりで時間的には厳しいものがありますが、厳しい中で時間の使い方を工夫している人もいます(努力賞)。個人の努力もあります(親の声かけや学習環境づくり等の支援も大きいのではないかと考えています(支援賞)。子ども達の健康・学習面から考えたら睡眠時間は八〜九時間だと言われています。起床時間の六時三十分から逆算すると遅くても午後十時には就寝することが必要となります。

また、学習意欲・運動意欲を旺盛にするのも睡眠・朝食が源であり、すべての土台といえます。

子ども達のよりよい成長には運動・食事・睡眠のバランスを守り維持することが大人の責務だと考えています。今一度、子ども達の成長と生活リズムを整える為に帰宅・食事・家庭学習等の時間割を仕切り直してはいかがでしょうか

〈頑張りノート努力者賞〉

九月三十日現在

一年生：安富祖歩香、金城朱耶

北城妃菜

二年生：宇久田香歩、仲間航大

端慶山加野

安富祖大地

三年生：大嶺理子、山城優果

四年生：宮城梨穂、松堂彩子、

金城さくら

五年生：伊芸あやめ、寶彩奈

六年生：仲間梨紗、仲間百合菜

エノカワ・ベイヤ

『嘉芸小学校便り(嘉芸っ子)から』

うれしいお知らせ

【嘉芸小のホームページが「全

国(二万校)連合小学校長会」のホームページで国頭事務所の推薦を受け、二年間紹介されることに」

担当の新里教諭を中心に夏休みも研修を組み、全職員で携わっていることが評価されたものとうれしく思います。PTA作業の様子も早速掲載しております。どうぞ、ホームページでご覧下さい。



金武町立 嘉芸小学校

〒904-1203
沖縄県金武町字屋嘉1470番地
TEL (098) 964-2004
FAX (098) 964-6940

本校の創立は、明治23年(1890)1月1日です。今年で118年目を迎えた長い歴史と古い伝統を有する学校です。

『中川小学校便り(中川っ子)から』

スクールガード辞令交付式

十月三日(金)生活朝会で、

今年度スクールガードの辞令交

付式を行いました。全校児童にスクールガードボランティアの皆様を紹介し、登下校の安全について、再確認をしました。

「中川っ子は、地域の方々に見守られて幸せです。安心して子育てが出来ます・・・」と母親からの声もあり、PTAだけでなく、地域の方々の支えに感謝します。

スクールガードの皆様をご紹介します。

山田政和、高里盛仁

宜志富紹長、前原信正

小橋川勝雄、伊差川幸枝

山城透、山城亮子

兼次百合恵、以上九名の方々です。

最後に昨年スクールガード講習会に参加された高里さんから、子ども達へ、大きな声であいさつをすること。誰かに助けを求めること。困っている友達を見つけたら連携し合うこと等の注意がありました。まだまだ募集していますので、連絡下さい。

中川区事務所からお願い

いつもお世話になっている中川区事務所の宜志富司区長より、生活朝会で、公民館での過ごし方についての注意とお願いがありました。

①危ない遊びをしない。

(館内を走り回る子がいて、ガラスを割る事がよくある)

②大人を呼び捨てにしない。

(学童の指導員の方へ呼び捨ての子がいる)

③ことば遣いやマナーに気を付ける。

老人会や婦人会・青年会といろいろな方が公民館を使用しますが、大人の注意を聞かなかったり、乱暴なことば遣いの子がいて注意した方が心を痛めることが多々あり、気になる所です。皆でその場で、指導もして育ていきましょう。よろしくお願ひします。

『金武中学校便り(雄飛)から』

携帯電話について

(学校には学習用具以外持ってこない)

学校生活のきまり(生徒心得)の中で、所持品の②として学校に持参する物は、学習活動に必要なものにとどめる。とあります。さらに、携帯電話については、学校へ持ってきてはいけません。持ってきた場合は、担任の先生で預かり、保護者へ直接返します。しかし、何名かの生徒が携帯電話を学校に持ってきて、担任が預かるといったことが現におこっています。そこで、どうして携帯電話を持ってきていけないのか改めて考えてみましょう。

①携帯電話は、学校で必要な物

でしょうか。緊急で連絡を取りたいときは、学校に連絡をしていたければ、本人を呼び出し、連絡を取ることがで

きます。

②携帯電話が盗難にあう。この場合、携帯電話の個人情報漏洩・悪用につながります。それだけに、盗難があれば警察が関与すると同時に、全生徒を疑うことになり、人間関係が崩れます。

③経済的にも携帯電話を中学生に持たせて電話料金を支払うのは大変な事です。しかし、他の生徒が持ってくると自分も欲しいと親にせがむことになりません。

④携帯電話を持ってくることによって、授業中に電話が鳴る。メール交換やゲーム、カメラ、他校の生徒との電話が頻繁におこり授業に集中できない。(休み時間も学級の仲間と話もしないで電話やメール交換)

⑤さらに心配なのは、出会い系サイト的事件に巻き込まれる事や、学校裏サイトなどを使っての誹謗・中傷・いじめ

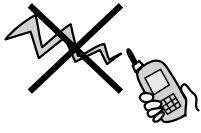
び出し、連絡を取ることがで

が発生することです。

このように、利便性の高い携帯電話ではありますが、他地区の学校で起こっている携帯電話の問題や、高校が携帯電話で困っている現状などを考えると、その利用の仕方において、教育的にさまざまな問題が発生することが予想されます

したがって、本校では携帯電話の学校への持込みを禁止しております。もし、持ってきた場合は保護者に直接お返ししますのでご理解とご協力をよろしくおねがいします。

病気などで、登下校中心配なのでどうしても持たせたいなどの理由があれば保護者と相談をして許可証を発行いたします。担任に、保護者が申し出てく



『金武中学校模擬授業』

提案授業者 稲福盛敏

夏休み中の八月四日(月)に校長先生自ら提案授業をなさいました。以前、福井県の越前市南越中学校訪問視察研修で学校の取組説明がありました。

その中に、教師の授業力を上させるねらいとして、模擬授業や校内公開授業を行っているという説明がありました。校長先生は、このような説明に触発されて、「我が校でも早速実践しよう」このような衝動に駆られたのだと思います。

校長先生が担任の先生、他の先生方は生徒の役に回り、学級総会の想定で、先生方はそれぞれの役になりきり、提案授業が



展開されました。

生徒の目線や気持ちになって学級総会に臨んでいる先生方は、班の団結力、班長の指導力が発揮され、学級担任の提案に丁寧に禁止に建設的な意見が交わされていった。校長先生が率先して教職員に示した姿勢は先生方に良い影響を与え、先生方は校内研修での体験は、授業の進め方に生かされると思います。

これを契機に、授業力に繋がる研修に発展することを願う。

文責 宜野座幸男

『十年経験者 研修を通して』



金武中学校
兼 次考枝

室・八月二十七日にネイチャー未来館での職場研修をおこないました。この三日間の研修を通して、今まで自分が経験したことのない、全く違う職業を体験することができました。

学童保育では、幼稚園生から小学校三年生までの児童が約二十名ほど通っていました。

みんな朝の九時には、夏休みの宿題と弁当を持ってきて午前中は宿題をし、午後はそれぞれの好きな遊びをしていました。最初は人見知りをしていて距離を保っていた子どもたちが、時間がたち慣れてくると少しずつ近づいてきて、字を書いたり計算を一緒にしたりしました。

昼食が終わって午後になると代わるがわる膝や肩にのってくるとなるほどでした。手をつないで散歩をしたり、バドミントンをしたりして、最後の時間まで楽しく過ごすことができました。

八月十八日IT講習、八月十九日並里公民館で学童保育を体験し、八月二十六日に町史編纂

小さい子と一日一緒に過ごし



たことは初めてだったので、いろんな発見と喜びがありとても貴重な経験ができました。

町史編纂室での研修では、石碑からの拓本を行い、資料の保存方法を習ったり、実際に保存用に使う箱やシートの作成、また陶器の修復作業の実践やパネルの作成をさせていただきました。これから学校でのいろいろな学習で関わるができる内容でとても勉強になりました。

ネイチャー未来館では、オープンしたてのきれいな施設の中で有意義に研修することができました。ネイチャー未来館のこれからの展開や金武町の中での

連携の構築など、とてもすごい計画の中で建てられているんだと思います。

午前は施設見学で午後はカーン体験でしたが、午後の研修は私の不注意でケガをしてしまい、参加ができませんでした。

そのときにもネイチャー未来館の方には親切に対応していただき、とても感謝しています。

一番楽しみにしていた、カーン体験でしたがこれからのいろんな機会の中で生徒と一緒に体験するときはあると思うので、

そのときまで楽しみにしていたと思います。

どの研修も学校とは違い、いろんな仕事があるんだなと改めて実感することができました。

日頃の学校生活では、決して体験することができない貴重な経験を四日間もすることができたとと思います。この研修を快く引き受けていただいた各事業所の皆様には心より感謝いたしております。この体験をこれから

の自分の仕事の中で活用していきたいと思えます。

今後いろいろな研修を通して得た知識や技能を、教育現場で活用できるように頑張りたいと思います。

『初任者研修を終えて』



金武小学校 初任者
久高瞳子

はじめまして、金武小学校の初任者、久高瞳子です。金武小に来て早六ヶ月。子ども達の笑顔とパワーに囲まれて毎日楽しくすごしています。

初任者研修も校長先生をはじめ、たくさんの方の先生方に支えられて充実した研修をしています。八月二十六、二十七日に町史編纂室とネイチャーみらい館で町主催の研修がありました。

一日目は編纂室で体験させて

いただきました。普段見ることのできないものなので、視野が広がるいいチャンスだと思えました。私たちが体験したものは、拓本、フィルム・エンキヤプスレーション、保存箱作り、文化財の接合、展示パネル作りでした。すべてが初めての作業で、驚くことばかりでした。

特に印象に残っているのは「拓本」です。石碑などに彫られた字を、墨を使って紙に写し取り保存するのです。拓本があれば石碑が壊れたり、浸食があったりすると、それを元に復元することが出来ず。拓本という言葉さえ知らなかった私にとってはとても新鮮でした。石碑の文字がはっきりとれ、石の表面も見ることが出来ます。たくさんの方の体験をしていく中で、このような細かい作業が、文化財の保存につながっていることを強く感じました。

二日目は「ネイチャーみらい館」で清掃とカーン体験でした。

カヌーではマングローブの中をガイドの説明を聞きながら金武町の豊かな自然を感じる事ができました。そして、みらい館の職員は、少ない人数で見えない努力を重ねているんだと実感しました。

最後に有意義な研修の場を与えてくださった教育委員会、編纂室のみなさん、ネイチャーみらい館のみなさん、大変ありがとうございました。これからも子ども達に金武町の良さを還元できるように日々努力していきたいと思えます。

『先輩から後輩へ』



琉球大学卒業
宜野座 富夫

人類の歴史には転機がある。日本も東京オリンピックを境に高度経済成長を遂げて現在の物

質的に豊かな国となった。問題含みとは言え北京オリンピックで熱い中国の発展もこの例に漏れない。その名の通り世界の大国・中国に帰り咲くことは必至だ。人生にも転機がある。小学五年にキャンプハンセンで米国防

聞売りのアルバイトをした。五時に起きて自転車で基地内に入りメスホール(食堂)の入口に新聞を広げて販売する。会話は「ペーパー」(新聞)「チェンジ」(お釣り)と簡単な単語とジェスチャーです。貧しい時代でメスホールから漂ってくる匂いはこの世のものとは思えなかった。いつの日か豊かな国の象徴、アメリカへ行くことを心に誓った。英語を上手く話せるようになりたいと思った。中学からの新教科・英語を一生懸命勉強したら生まれて初めて通知表に五を見て、小躍りして喜んだ。

その頃、同級生同士の慢性的ないじめを端緒に集団乱闘事件

を起こした。いじめを看過できずHと相談し、いじめ側に挑戦状を突きつけた。六十名余の男子生徒が土曜の午後、ブルービーチに集結し二手に分かれて激しい乱闘となった。「前ぬ浜決闘」と今でも同級生の間で語り継がれている。数で劣勢と見るやいじめ側が素手の約束を反故にして棒切れなどの武器を手にしたため、蜘蛛の子を散らすように散り散りになり、そのまま終わった。

翌日はお互いの健闘を称えて仲直りを予定していたものの、共謀のHが手と足を骨折し入院していた。朝から学校中が大騒ぎになった。当然、関係者は職員室前の白州に引き立てられた。主謀の一人になった僕は説教と愛のムチを浴びた。それでも、先生方が原因を理解してくれたことは救いであった。結局「喧嘩両成敗」ということになり事は収まった。その後、いじめがなくなったことは幸いであった。

そんな「ヤマシシ」の渾名の僕の将来を心配したI先生は優しく導いてくれた。金武の人間は褒めることが下手だといわれるがI先生は褒め上手だった。真面目に勉強するように三年になって主要教科が全て五になった。「やればできるんだ」と自信がついた。工業高校を目指していたが、大学進学を薦められ、軌道修正して琉大英文学科に進むことができた。あの時のI先生の優しい指導が僕の転機となった。

福井県学校訪問 視察研修報告Ⅱ

二日目：午後福井県教育庁を訪ねました。

福井県教育庁からの説明について、箇条書きで述べたいと思います。

○学校活動に関するボランティアの割合が高い。支援者は児童生徒が自分で出来るように

するために取り組んでいる。

【効果等について】

◆今まで、教師が一人で対応していた班別や個別の学習も、ボランティア先生がいてくれるおかげですぐに見てくれるようになった。

◆地域や保護者の方に学校へ来ていただくことで、家庭や地域と学校との垣根がずいぶん低くなってきており、開かれた学校づくりも推進されてきている。

○学級編成基準の適正化を図りきめ細かな教育体制の充実を目指している。

【学級編成基準のねらいと改善点】

◆福井の子どもたちの発達段階に合わせ、義務教育九年間を見通した最適な学習環境を提供する。(学級編成基準を段階的に下げていき、最終的に小学低学年を三十一人、高学年を三十六人、中学校を三十二人にする。)

◆学級編成基準で加配された教

員を、教育委員会および校長

の裁量により、各学校の児童生徒の実態に合わせて、T1、少人数に柔軟に活用できる。

(学級増ししないで基準以上の人数でT1、少人数指導一人分に活用できる等)

○「福井型コミュニティ・スクール推進事業」は、家庭、地域、学校が連携し、地域の特性や実情を活かしながら、地域に根ざした開かれた学校づくりを目指すものである。

【地域・学校の活動】

◆具体的な学校運営に関すること。ア、授業への地域人材の積極的活用

イ、学校行事の企画・運営
◆地域の行事や活動への児童・生徒、教職員の参加に関すること。

◆子どもの安全に関すること
ア、見守り活動の実施
イ、子どもへの指導

◆外部評価による学校運営の改善に関すること

ア、保護者や地域の意見を反映した学校教育目標等の設定

イ、カリキュラム等の内容の検討

◆地域における課題や家庭における子育てに関すること

◆特色ある教育活動を進めるための人材確保や予算等の協議も含め、地域の特性に応じた学校運営に関すること
○この福井型は、国の学校評議員制度を改善発展させた取組である。

○「白川文字学」を取り入れた漢字学習の推進について
小学校六年間で学習する漢字一〇〇六字に、関連する使用頻度の高い漢字十六を加えた一〇二二字を概念や形、部首、白川文字学を取り入れた成り立ち等で分類し、一覧表にまとめたものをいつでも児童が目にする事ができるよう、教室等に常時掲示する。

※「白川文字学」は中国の古代の人々のくらしやものの考え

方から、漢字が形づくられてきたことがわかると説いている。

○福井県独自の学力調査を昭和二十六年から続けている。

問題作成には現場の先生も関わっている。

○サイエンス寺子屋事業
子どもたちが放課後の生活・活動の場において化学実験等を体験することで、理科や算数・数学に対する興味・関心を高めることを目的としている。(放課後、子どもの居場所作りに役立っている。)

以上、福井県の取組や事業を列記しましたがこれが教育に関する全てとは思っていません。

説明会の中で、嘉芸小学校の校長先生が県の指導主事に質問されました。「ほとんどの地方県が財政逼迫の危機に瀕していると聞きます。どうして、福井県は学級編成基準の適正化といった思い切った予算が立てられるのですか？」すると指導主事は「知事の考えです。」というお答

えでした。

知事の考えのもと施策が練られた教育行政、例えば高校入試に他府県と違った『記述式』の問題を取り入れるなど、目先の結果や報道等に翻弄されることなく、「本当に学力に繋がる取組とは何か」という独自の視点で腰を据えた取組であると感じました。

文責 宜野座幸男

『第二回 全国学力・学習状況調査から』

○小学校国語A（主として知識に関する問題）

金武町内三校の平均正答率が四十九・八％で、三校中最高の正答率が六十八・八％最低が四十三・二％

県平均正答率五十七・五％

全国平均正答率六十五・四％

○小学校国語B（主として活用に関する問題）

金武町内三校の平均正答率

が三十四・〇％で、三校中最高の正答率が四十・一％最低が三十・四％

県平均正答率四十五・一％

全国平均正答率五十・五％

○小学校算数A（主として知識に関する問題）

金武町内三校の平均正答率が五十九・四％で、三校中最高の正答率七十一・一％最低が五十六・六％

県平均正答率六十六・三％

全国平均正答率七十二・二％

○小学校算数B（主として活用に関する問題）

金武町内三校の平均正答率が三十七・二％で、三校中最高の正答率が三十八・九％最低が三十一・四％

県平均正答率四十五・五％

全国平均正答率五十一・六％

○中学校国語A（主として知識に関する問題）

平均正答率が六十三・二％

県平均正答率六十七・八％

全国平均正答率七十三・六％

○中学校国語B（主として活用に関する問題）

平均正答率が四十七・七％

県平均正答率五十四・〇％

全国平均正答率六十・八％

○中学校数学A（主として知識に関する問題）

平均正答率が四十一・五％

県平均正答率四十九・六％

全国平均正答率六十三・一％

○中学校数学B（主として活用に関する問題）

平均正答率が二十九・二％

県平均正答率三十八・〇％

全国平均正答率四十九・二％

学力テストの結果について、

県や全国平均正答率との差を平成十九年度と二十年度を比較した時、小学校は知識に関する問題は昨年度と変化が見られず、活用に関する問題は県や全国平均正答率により近づいた数値を示していました。中学校は数学の活用に関する問題以外全て差が縮まっていました。

問題なのは無解答率が県や全国に比べ高い事です。問題の意味が読めない、あきらめずに解こうとする粘りが無い等々色々考えられますが、この実情を重く受け止めて、各校では基礎的・基本的な知識や技能定着のために、補習活動として朝の時間帯に、計算問題や音読等を実践しています。他に授業改善のための「学び合い授業」やインターネットを活用した教育ソフトでの授業も行っています。

各学校は、今回の結果を分析検討し、原因や課題解決のための取組や計画等を提示する事になっていきます。

教育委員会は分析検討委員会を立ち上げ、課題や問題点を整理し学校等に指導や支援をしていきたいと考えています。

なお、今回の学力・学習状況調査の結果に関する分析や考察等詳細については、特別号として発行する予定です。

文責 宜野座幸男

第62回

金武町陸上競技大会

九月二十八日、町営グラウンドで第六十二回金武町陸上競技大会が開催されました。各区の

意地と誇りをかけた走り、跳躍、投てきに応援団は太鼓を打ち鳴らし、声援を送っていました。

今大会では三十代女子百Mで仲間陽子さんが大会タイ記録、中学生男子千五百Mで新垣祐介さん、下園良太さん、伊地知裕太さん、奥間知葉さん、中学生男子走幅跳で真栄平祥吾さん、中学生女子八百Mで嘉数るちやさん、中学生女子走幅跳で蔵当琴



優勝した1区チーム



大会記録が出た中学男子1500M



懸命に走る選手の皆さん

世さんが大会新記録を樹立しました。
一般男子・一般女子・壮年の部で争われた陸上競技大会は、一区が全ての部で安定した力を発揮し、見事総合優勝を飾りました。個人種目の成績は次のとおりです。

一般男子			
100M	大城拓也	屋嘉区	12" 0
200M	中山大樹	屋嘉区	26" 5
400M	平良康次郎	4区	62" 3
800M	金城守	2区	2' 20" 2
1500M	金城守	2区	4' 45
5000M	一杉岳春	2区	20' 42
10MK	山内昌重	中川区	49' 31
400MR	中川区		50" 3
1600MR	屋嘉区		4' 18" 9
400MR年齢別	伊芸区		57" 5
走高跳	高梨礼央	2区	1M65
走幅跳	名嘉眞隆太	中川区	5M48
三段跳	久高幸嗣	1区	11M04
砲丸投	伊芸武康	伊芸区	9M83
円盤投	岡村拓歩	3区	39M73
ヤリ投	山城基宏	4区	48M25
ハンマー投	岡村拓歩	3区	41M37
一般女子			
100M	鳩間舞	中川区	15" 8
200M	仲間理沙	2区	32" 4
400M	磯崎忍	3区	73" 6
800M	大城奈津子	4区	3' 07" 4
400MR	4区		66" 1
400MR年齢別	4区		67" 1
30代100M	仲間陽子	1区	15" 7
40代100M	伊芸美智代	中川区	17" 5
走高跳	喜瀬真奈美	伊芸区	1M15
走幅跳	小波津初美	伊芸区	3M82
砲丸投	宜野座望美	3区	7M85
円盤投	宜野座望美	3区	25M80
ヤリ投	山城有世	4区	30M46

壮年の部 (30代)			
100M	仲間功	1区	11" 8
1500M	与古田誠	1区	4' 52
走高跳	仲間靖明	3区	1M50
走幅跳	仲間功	1区	5M69
砲丸投	山城仁	3区	9M03
円盤投	福本国男	3区	23M17
壮年の部 (40代)			
100M	仲間洋一	1区	12" 6
800M	前泊万寿夫	2区	2' 30" 4
走高跳	池原博章	3区	1M50
走幅跳	島袋義一	伊芸区	5M04
砲丸投	名嘉眞隆	中川区	9M00
円盤投	仲間和章	1区	28M71
壮年の部 (50代)			
100M	与儀実栄	1区	13" 8
砲丸投	平良幸夫	伊芸区	9M47
壮年の部 (60代)			
100M	仲田弘	2区	15" 7
砲丸投	伊芸章	屋嘉区	9M02
中学生 (男子)			
100M	保良健太郎	2区B	12" 5
400M	宜野座涼	4区	61" 5
1500M	新垣祐介	屋嘉区	4' 46
400MR	2区B		52" 9
走高跳	新垣祐介	屋嘉区	1M40
走幅跳	真栄平祥吾	2区A	5M35
中学生 (女子)			
100M	當山千穂	中川区	15" 2
200M	安次富絵里花	1区	32" 0
800M	嘉数るちや	3区	2' 53
400MR	4区		64" 4
走高跳	仲間なつみ	4区	1M05
走幅跳	蔵当琴世	屋嘉区	4M34

総合優勝に中川区が初優勝！

第30回金武町民体育大会 種目別得点表

種目	一区	二区	三区	四区	中川区	伊芸区	屋嘉区
軟式野球	1	3	6	4	5	7	2
ソフトボール	3	7	2	1	5	4	6
沖縄角力	5	3	7	6	1	2	4
卓球	2	5	3	7	6	1	4
バドミントン	3	2	6	5	7	4	1
ソフトテニス	5	1	4	6	7	2	3
バレーボール	男	3	5	2	6	7	1
	女	3	5	1	2	7	4
バスケットボール	男	6	7	4	3	2	5
	女	7	6	2	0	3	5
小計	38	44	37	40	50	35	35
陸上競技	男	3	7	5	6	4	1
	女	7	2	3	5	6	4
	壮	7	6	5	2	4	3
小計	17	15	13	13	14	8	4
総合得点	55	59	50	53	64	43	39
総合順位	3	2	5	4	1	6	7

5月に開幕した第30回金武町民体育大会も、各競技で様々な熱戦をくりひろげ、陸上競技をもって幕を閉じました。

今年度は、町民体育大会の総合優勝に中川区チームが見事、初優勝に輝きました。



総合優勝した中川区チーム

全国小学生 陸上競技大会

400mリレー 県最高記録 51秒77

平成20年8月29日～30日に東京国立競技場において、全国小学生陸上競技交流大会が開催され、金武小学校から5人の選手が400mリレーに初出場しました。

結果、目標の県勢初の決勝進出はなりませんでしたが、見事に県最高記録を樹立しました。(47チーム参加中11位) 選手は、慣れない他のチームとの団体生活、長時間の電車や徒歩での移動、大会当日は悪天候にも関わらず、120パーセントの力を発揮してくれたようです。また、大会では北京オリンピック400mリレー銅メダリストを含む日本代表選手を間近に見る事ができ、全国を肌で感じ児童にとっては貴重な体験になったようです。



第24回全国小学生陸上大会

金武メダリスト陸上クラブ

監督	島袋 洋
コーチ	前泊 万寿夫
400mリレー選手	仲間 翔太郎
//	宇久田 海貴
//	上原 一郎
//	吉田 海斗
100m 選手	平川 翔

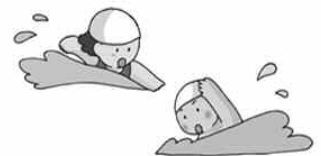


平成二〇年度金武町小・中学生水泳大会が、八月三〇日（土）金武町営プールに行われ、町内の小・中学生三十八名が日頃の練習の成果を發揮しました。各種目の優勝者は次のとおりです。

平成20年度

金武町
小・中学生
水泳大会

学年	種目	女子			男子		
		名前	小学校	記録	名前	小学校	記録
1~2	フリー 12.5m	大城唯華	嘉芸	15秒83	登川晴天	嘉芸	14秒33
	フリー 12.5m	大城唯華	嘉芸	16秒79	奥間亮太	金武	27秒16
3~4	フリー 12.5m	奥間桜	金武	12秒22大会新記録	新垣誼政	嘉芸	13秒04
	クロール 25m	仲間百香	嘉芸	24秒17	新嶋建人	金武	25秒12
	平泳ぎ 25m	松本恵利奈	金武	30秒71	伊芸雅	嘉芸	30秒74大会新記録
5~6	クロール 25m	伊芸瑞穂	金武	20秒63	神山京土	金武	22秒60
	クロール 50m	伊芸瑞穂	金武	43秒78	神山京土	金武	48秒60
	平泳ぎ 25m	伊芸瑞穂	金武	29秒78大会新記録	神山京土	金武	30秒75
	平泳ぎ 50m	伊芸瑞穂	金武	49秒51大会新記録			
中学生	クロール 25m	伊芸夏穂	金武中	21秒49			
	クロール 50m	伊芸夏穂	金武中	45秒51			
	平泳ぎ 25m	伊芸夏穂	金武中	25秒08			
	平泳ぎ 50m	伊芸夏穂	金武中	51秒48			



読書フェスティバル開催のお知らせ

と き：平成20年11月3日（月）午後2時から5時

ところ：金武町立図書館（TEL 968-5004）

今回、4回目となるフェスティバルでは

- ① 並里区方言紙芝居「オランダ森とエーグ石」の実演
- ② 学校読み聞かせボランティアによる絵本読み聞かせ
- ③ 宿道（明治時代まで使われていた道路）の写真展示会

などなど、楽しみがいっぱいの内容です。気軽に遊びに来てください。

詳しくは、図書館だよりをご覧ください。町立図書館へお問合せください。



（写真：去年のフェスティバルの様子）



大豆や米、麦をひくのに使われていました。主に豆腐作りに使用されていたので、トーフウーシとも呼ばれています。水に浸した大豆を上から落とし、水を注ぎながらひきます。反時計回りに右手で取手を回し、左手で胴を手前になで寄せるように回します。現在ではあまり使われなくなりましたが、置物や敷石として利用されているようです。

イシウーシ

「モノ」にみる暮らしの風景

大城みさき選手

(北京五輪代表)

中川小学校で講演!!



九月二十五日(木)に中川小学校で、北京オリンピック重量挙げ女子四十八kg級で八位入賞の大城みさき選手特別講演会が開催されました。「夢にしがみつけ」と題し、高



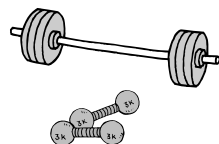
校時代に重量挙げをはじめたきっかけからオリンピック出場までを、ビデオを交えてお話して頂きました。バスケット部を辞めてお母さんの仕事の手伝いをしたこと、比嘉コーチに誘われ重量挙げを始めたこと、早朝トレーニング、昼休みの練習、夕方の練習、自宅トレーニングと他の人の二倍の練習で頑張ったことなどをお話しして頂きました。また「朝ごはんをしっかり食べること」「夜は十一時までに寝ること」など簡単なことから生活リズムを見直し、オリンピック出場がなかったと話し、

「やるべきことをきちんとやる。夢を見つけて、夢にしがみついてほしい」と子ども達に語りました。その後、比嘉敏彦コーチから「睡眠は一時間三〇分周期を守りましょう、七時間三〇分で起きると頭も体も疲れがしっかりと取れます。そして朝ごはんは炭水化物を食べましょう、炭水化物が脳の栄養であるブドウ糖に変わります」と大城選手にアドバイスしたことをわかり易くお話して頂きました。子ども達は大城選手や比嘉コーチの話しに、目を輝かせていました。また、質問コーナーでは、「オリンピックは凄かったですか?」「何キロ持ったんですか?」「選手村では英語でお話ししましたか?」など沢山の質問に、ひとつひとつ丁寧に答えていました。



北京オリンピック重量挙げ日本代表 48キロ級 8位入賞! 「夢にしがみつけ」

に伝えていただきました。大城選手、比嘉コーチどうもありがとうございました。ロンドンオリンピック金メダル目指してガンバレ!!



金武町子連主催 親子野球大会

九月六日、七日の二日間にわたって町営グラウンドを会場に親子野球大会が行われました。県大会の予選も兼ねる今大会は、各試合で熱戦を繰り広げました。その中で初参加となる金武イーグルスは、四年生主体のチームではありますが一勝をあげるなど、町の少年野球に新しい風を感じました。

大会は、八月に福岡で行われた少年野球大会稲尾杯で優勝した金武ジュニアスターズAが昨年引き続き優勝を果たしました。以下は、優勝チームキャプテンの松堂嘉洋のコメントです。「金武町での親子野球大会で優勝し、今年も県大会に出場します。これも普段から僕達の後押しをしてくれているお母さん、お父さんの協力の成果だと思います。去年の県大会はベスト四

で終わったので、今年は親子で優勝を目指して、優勝旗を金武町に持ち帰りたいです」

県大会での優勝を誓った松堂くん率いるジュニアスターズの県大会での活躍に大注目です。

県大会日程

十月二十六日 一回戦 宜野湾市民広場 (宜野湾市役所向かい)
十一月一、二日 宜野湾市民広場(勝ち上がった場合)



第16回金武町童話・お話大会

日時：平成20年10月28日(火)午後2時15分
場所：低学年の部 金武小学校 体育館
高学年の部 嘉芸小学校 体育館
低学年の部（1～3年）、高学年の部（4～6年）とも各小学校から男女の代表が出場します。大会は、どなたでもご覧になれます。町民の皆様、応援よろしくお祈りします。

お問合せ：PTA連合会 968-8996

金武町文化協会20周年記念

金武町文化祭

展示：平成20年11月12日～11月16日
舞台：15日午後3:00～5:00しまくとぅば大会
5:00～7:00子ども芸能大会
16日午後2:00～4:00各部舞台発表
4:30～5:30記念式典
6:00～9:00記念祝賀会

お問合せ：文化協会 968-8996

編集後記

町内小学校・中学校の組や活動を、金武町民の方に知ってもらおうと今号より、載せることにしました。華々しい記録や成績ではないですが、地道に努力する児童生徒や学校が認められる、褒められるという機会や場面を教育委員会広報で作ることも大切だと考えています。

今回、この教育委員会広報に掲載された児童生徒や学校は誇りを持って益々励んで下さい。

地域の児童生徒の活動や行いで、教育委員会広報に載せて褒めてあげたい、紹介したいことはありませんか。

ご一報下さい。

電話

〇九八一九六八―二九九一

FAX

〇九八一九六八―四九六三